



管理画面利用マニュアル Ver.1.3

● 製品に関するお問い合わせは **株式会社 セキュア**

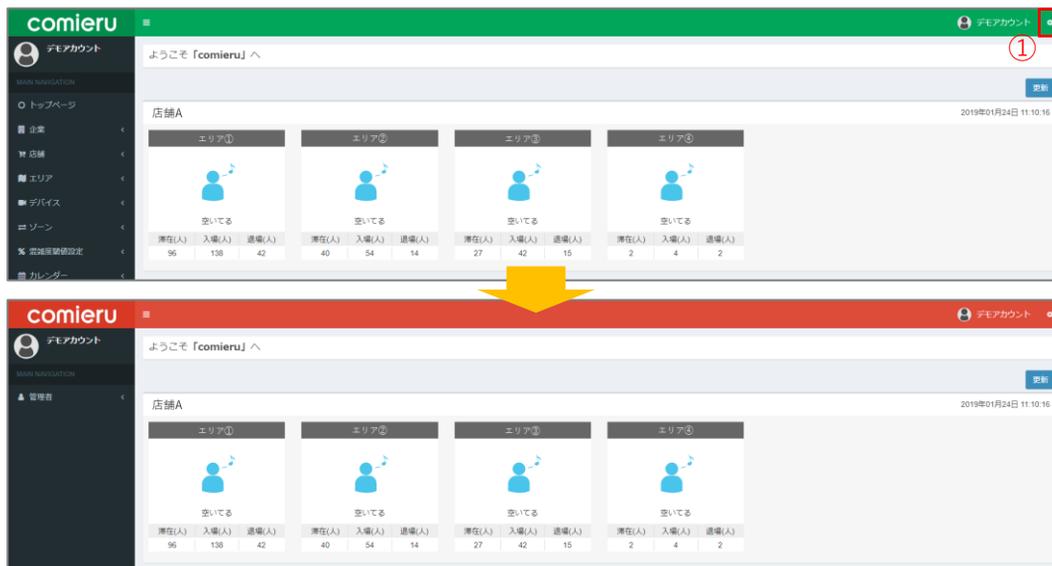
東京本社
〒163-0220 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル20階
TEL 03-6911-0660
FAX 03-6911-0664

混雑カウントサポートチーム
E-mail : comieru-support@secureinc.co.jp

SECURE

はじめに：パスワード変更

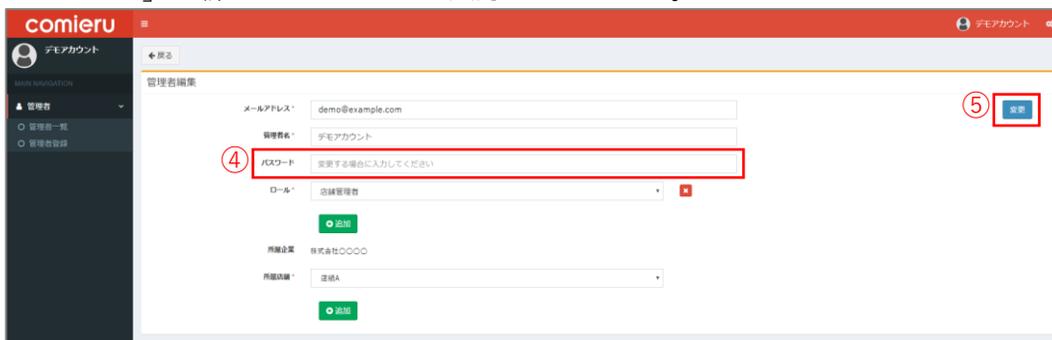
- ① 管理画面右上の歯車マークをクリックして、アカウント管理モードに変更します。
 ※上部の緑色のバーが赤色になっていれば、アカウント管理モードです。



- ② サイドメニューバーから [管理者]>[管理者一覧] をクリックすることで管理者一覧ページが表示されます。



- ③ 一覧からパスワードを変更したいアカウントを選択し管理者編集画面を開いてください。
 ④ 「パスワード」に新しいパスワードを入力してください。

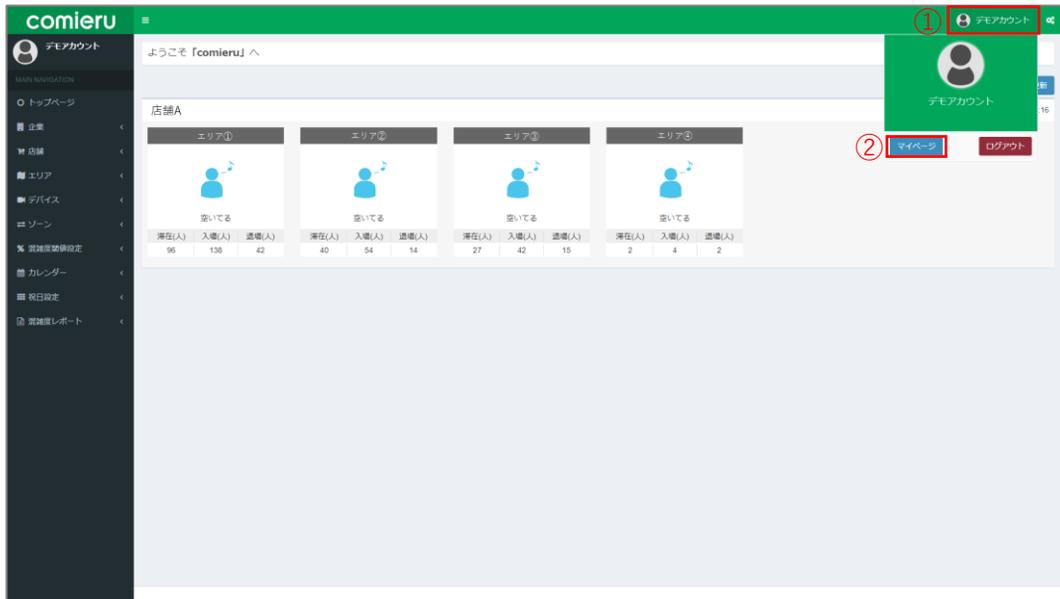


- ⑤ 入力した「パスワード」の設定を反映させるために、「変更」をクリックしてください。

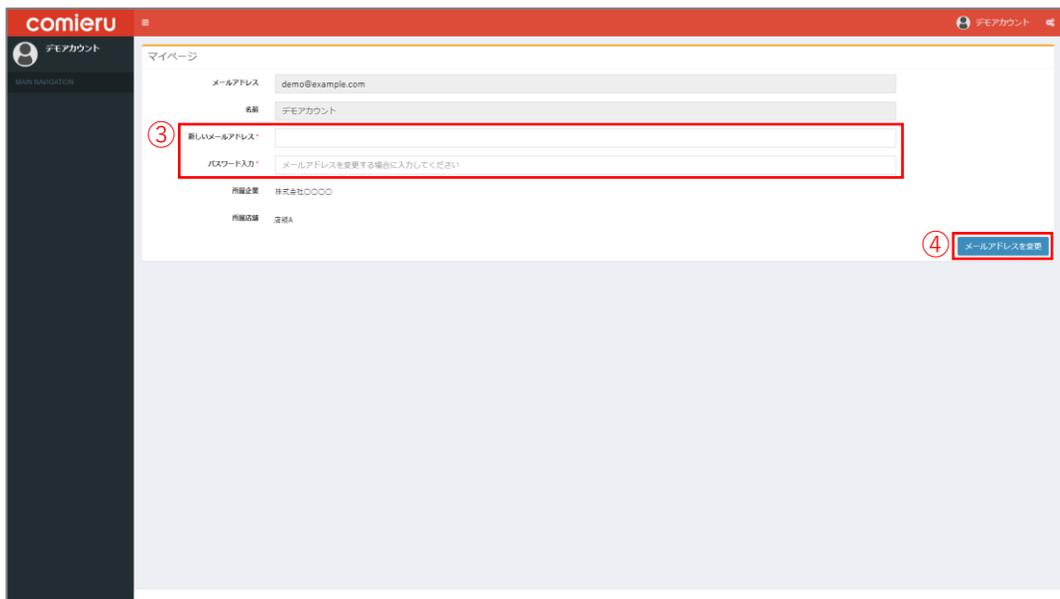
※パスワードを忘れてしまいログインできなくなった場合には、お手数ですが下記混雑カウントサポートチームまでご連絡ください。

アカウント情報の変更(メールアドレス変更)

- ① 管理画面右上のアカウント名が表示されている部分をクリックするとアカウントメニューが表示されます。
- ② 表示されたアカウントメニューから「マイページ」を選択してください



- ③ 現在のアカウント設定が表示されますので、「新しいメールアドレス」に変更したいメールアドレスを、「パスワード入力」にパスワードを入力してください。



- ④ 入力した「新しいメールアドレス」の設定を反映させるために、「メールアドレスを変更」をクリックしてください。

機能一覧

サイドメニューバー 機能一覧

- | | |
|--------------------------|---|
| ・ トップページ | - ログイン直後のページになります。店舗管理者は、関連店舗の現在の「混雑Lv、滞在、入場、退場」の一覧が表示されます。 |
| ・ 企業
- 企業一覧 | - アカウントに紐づく、企業情報を確認できます。 |
| ・ 店舗
- 店舗一覧 | - アカウントに紐づく、店舗情報を確認できます。 |
| ・ エリア
- エリア一覧 | - エリア情報の確認、収容人数の変更、エリアの表示/非表示の設定、現在の滞在人数の調整/リセットが可能です。
- エリアを登録できます。
※エリア登録機能は基本的に導入後に使用することはありません。 |
| - エリア登録 | |
| ・ デバイス
- デバイス一覧 | - デバイス一覧を確認することができます。 |
| ・ ゾーン
- ゾーン一覧 | - エリアに紐づく、デバイスのゾーンの一覧を確認できます。 |
| ・ 混雑度閾値設定
- 混雑度閾値設定一覧 | - 混雑度Lv.の一覧と閾値設定(混雑度Lv.の切り替わり)の調整が可能です。 |
| - 混雑度閾値設定登録 | - 新規の閾値の登録が可能です。
※閾値設定はエリア毎に1つ登録可能ですので、
閾値設定一覧よりエリアの調整をご利用ください。 |
| ・ カレンダー
- カレンダー設定 | - エリア毎の「営業時間、リセット時間、時間外表示文言」の設定が可能です。 |
| ・ 祝日設定
- 祝日設定店舗一覧 | - 店舗毎の祝日設定の一覧です。店舗ごとに通常の平日より混雑が予測される日を、祝日として設定することが可能です。
：例) 3が日やGWの中日、施設のイベント日 など... |
| ・ 混雑度レポート
- 混雑度レポート一覧 | - 集計した混雑度のデータをCSV形式でダウンロード可能です。 |

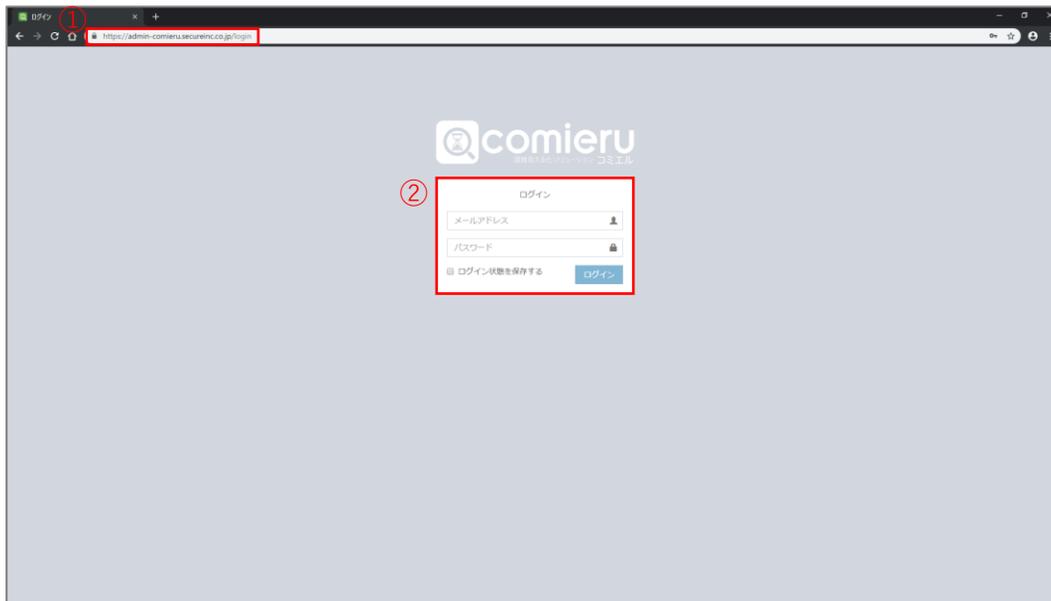
■ : お客様が主に
利用する機能

管理画面へのログイン

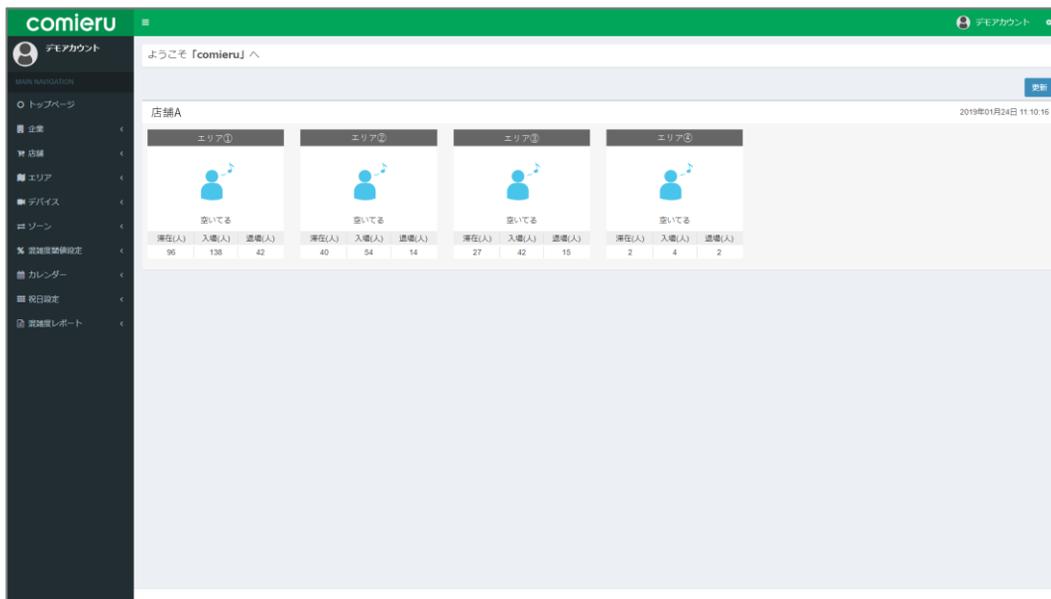
- ① 混雑カウント管理画面へログインするためには、下記URLにアクセスしてください。

URL : <https://admin-comieru.secureinc.co.jp/login>

URLにアクセスすると以下の画面が表示されます。



- ② サービス導入時にご連絡させていただいた、メールアドレス/パスワードを入力しログインを行ってください。
ログインに成功すると以下の管理画面の「トップページ」が表示されます。

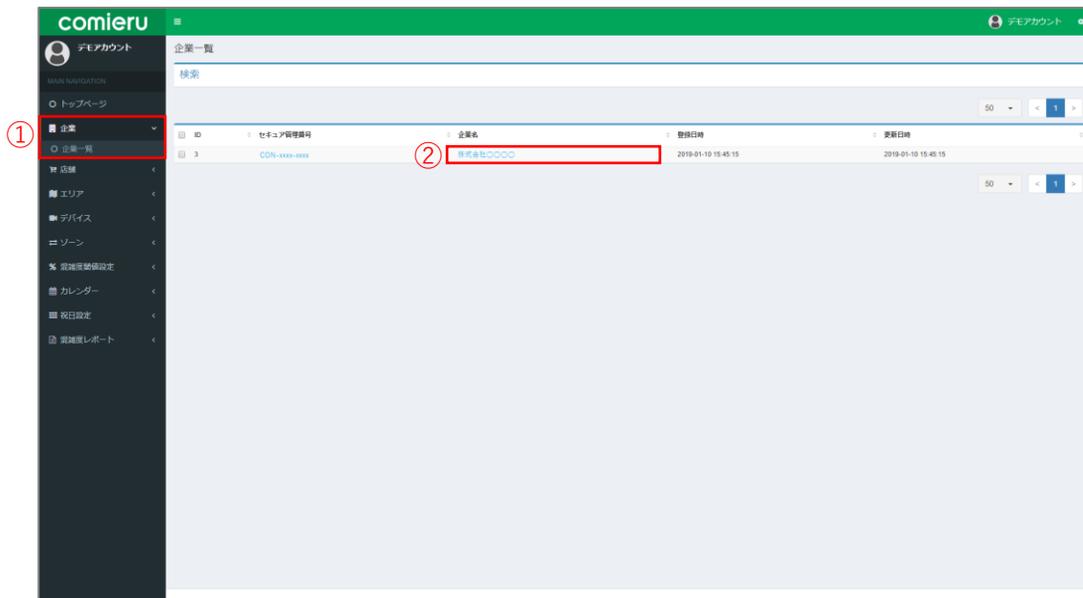


※パスワードを忘れてしまった場合は、お手数をおかけしますが、下記サポートチームまでご連絡ください。

- 製品に関するお問い合わせは **株式会社 セキュア**

企業情報の確認

- ① サイドメニューバーから [企業]>[企業一覧] をクリックすることで企業一覧ページが表示されます。



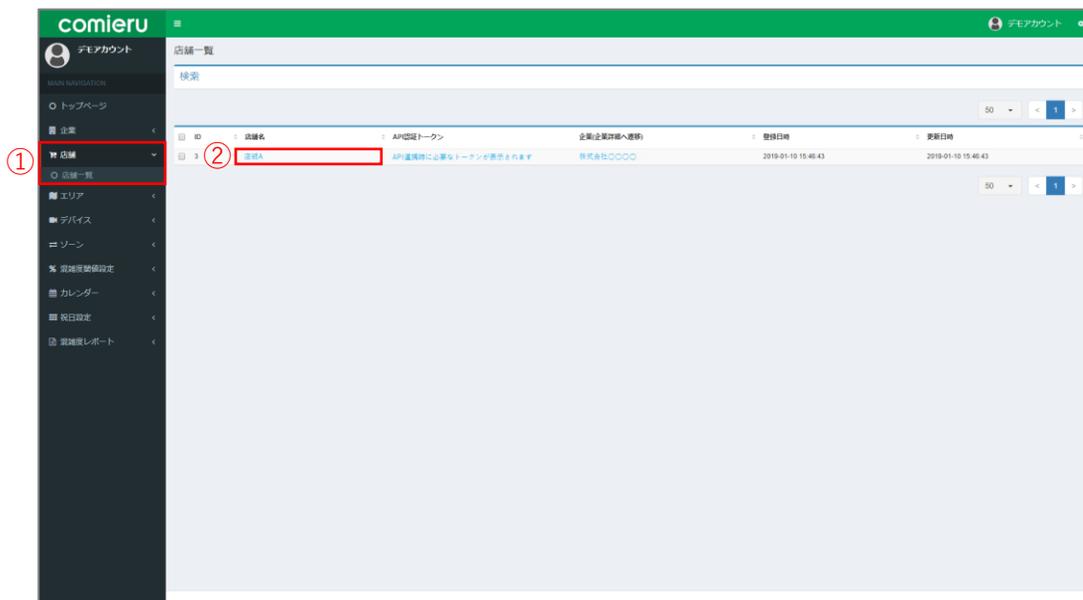
- ② [企業名]をクリックすることで詳細情報を閲覧することができます。



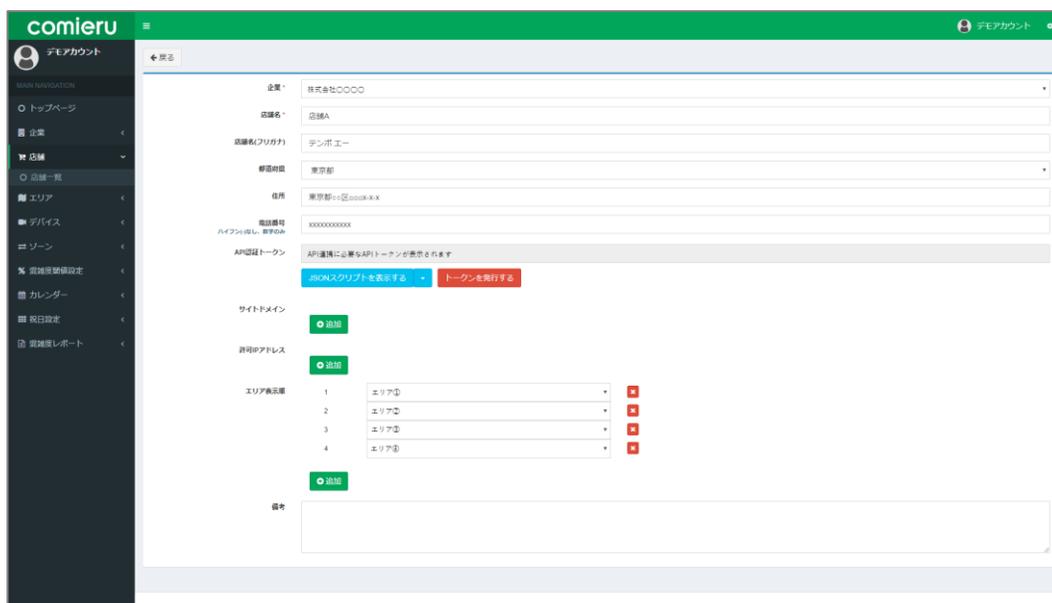
※企業情報に変更があった場合にはお手数をおかけしますが、
下記サポートチームまでご連絡ください。

店舗情報の確認

- ① サイドメニューバーから [店舗] > [店舗一覧] をクリックすることで店舗一覧ページが表示されます。



- ② [店舗名]をクリックすることで詳細情報を閲覧することができます。



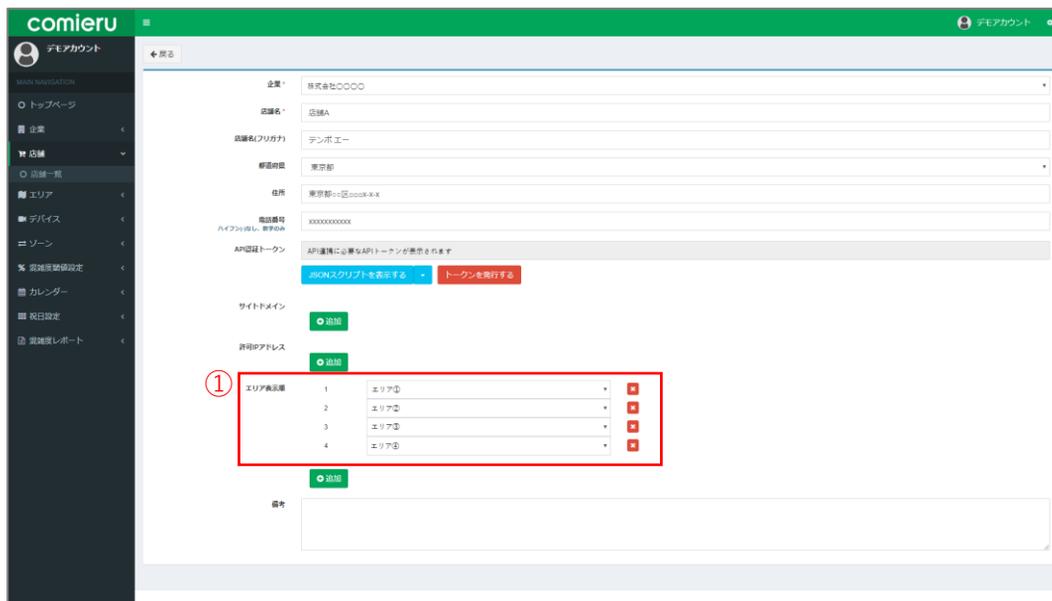
- 製品に関するお問い合わせは **株式会社 セキュア**

東京本社
〒163-0220 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル20階
TEL 03-6911-0660
FAX 03-6911-0664

混雑カウントサポートチーム
E-mail : comieru-support@secureinc.co.jp

エリア表示順の入れ替え方法

- ① 店舗の詳細画面の「エリア表示順(赤枠内)」にてAPIで表示するエリアの順番を入れ替えることが可能です。



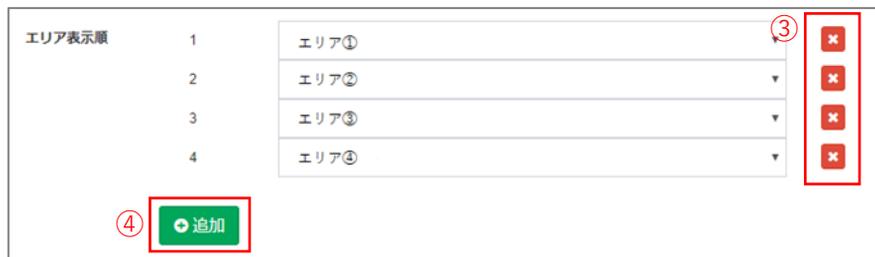
※APIでJSONを取得し、混雑度をカスタム表示している場合には、うまく動作しない場合がありますのでご注意ください。

- ② エリア表示順の1,2,3,4...と並んでいる「エリア名」をクリックすると、登録されているエリアが「プルダウン表示(赤枠内)」で表示されますので表示を行いたい順に並び替えを行ってください。



※右枠エリア表示の枠

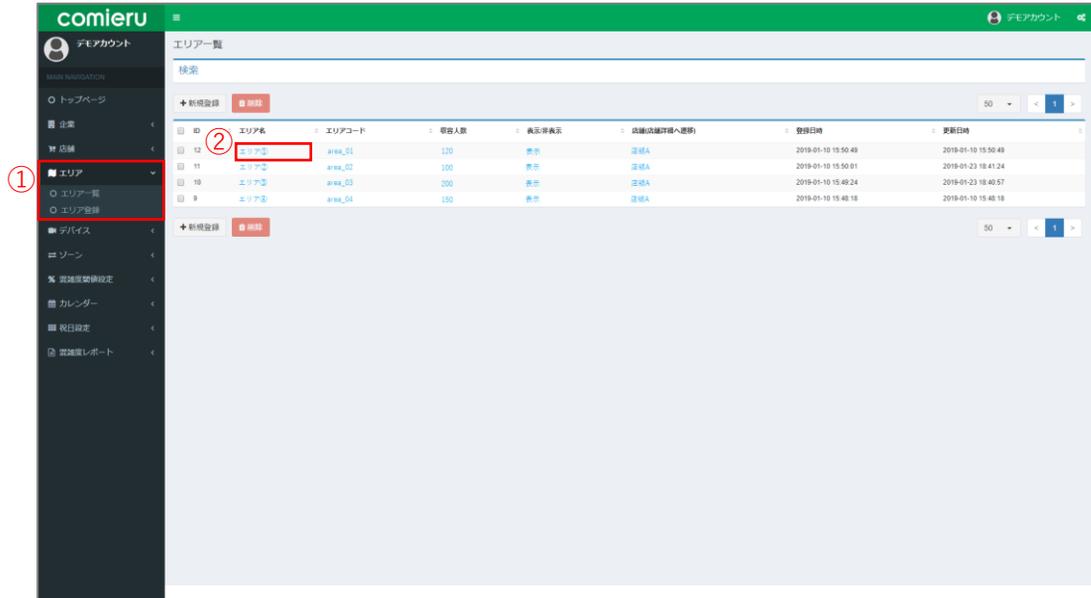
- ③ エリア選択枠の右側の「×」ボタンを押すと、エリア選択枠が削除されます。
 ④ 誤って削除してしまった場合には、エリア選択枠の下側にある「追加」をクリックすることで、選択枠を増やすことができます。



※逆にエリア選択枠を誤って増やしてしまった場合には、「×」ボタンにてエリア選択枠が実際の表示数に合うように調整してください。

エリア一覧の確認

- ① サイドメニューバーから[エリア]>[エリア一覧]をクリックすることでエリア一覧ページが表示されます。

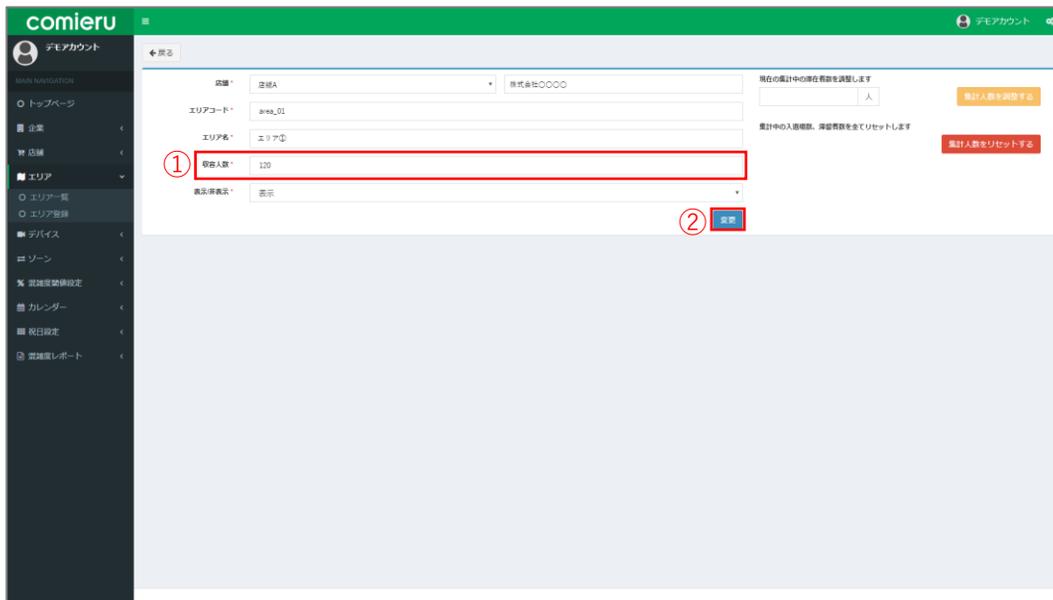


- ② [エリア名]をクリックすることで詳細情報を閲覧することができます。



エリア収容人数の変更方法

- ① 施設内のレイアウト変更や改装により、エリア内に滞在可能な人数が変わった場合には、エリア詳細情報を表示した状態で「収容人数」を選択してください。
「収容人数」の枠内には現在設定されている収容人数が表示されておりますので、新しい収容人数を記入してください。

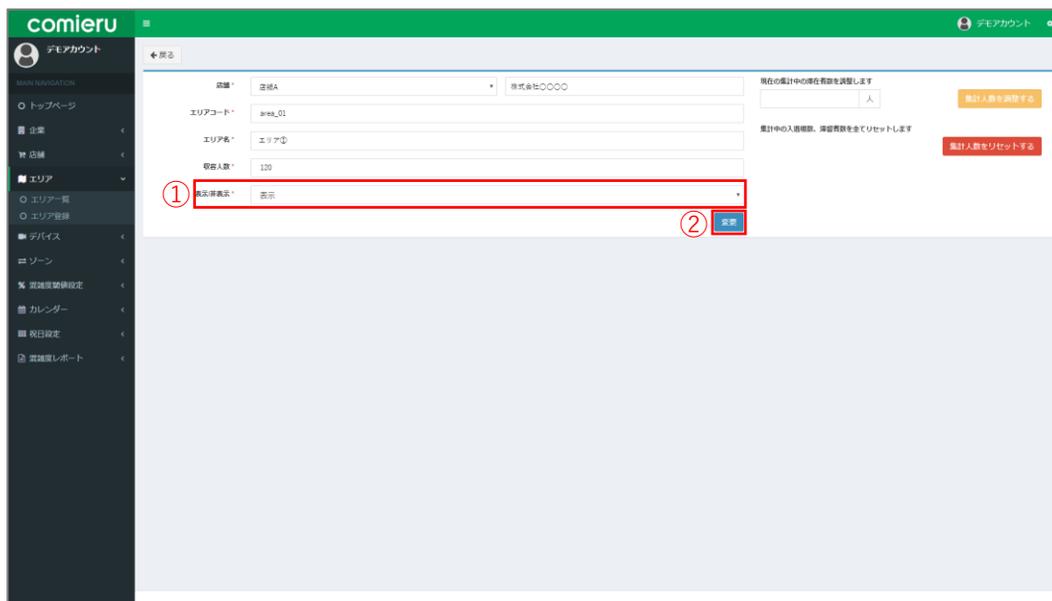


The screenshot shows the Comieru web application interface. On the left is a dark sidebar with navigation options like 'トップページ', '企業', '店舗', 'エリア', 'デバイス', 'ゾーン', '混雑度閾値設定', 'カレンダー', '休日設定', and '混雑度レポート'. The main content area has a header with 'comieru' and 'デモアカウント'. Below the header, there are several input fields: '店舗' (Store) with a dropdown menu, 'エリアコード' (Area Code) with 'area_01', 'エリア名' (Area Name) with 'エリア01', and '収容人数' (Capacity) with '120'. The '収容人数' field is highlighted with a red box and a circled '1'. To the right of the '収容人数' field is a '変更' (Change) button, which is also highlighted with a red box and a circled '2'. There are also buttons for '高計人数を調整する' (Adjust high count) and '高計人数をリセットする' (Reset high count).

- ② 収容人数を記入したら、「変更」ボタンをクリックし変更内容を保存してください。
※「店舗」、「エリアコード」の項目を変更すると、混雑度の表示に影響を与える可能性がありますので、変更を希望する場合には事前にご相談いただけますと幸いです。

エリア表示/非表示の切り替え方法

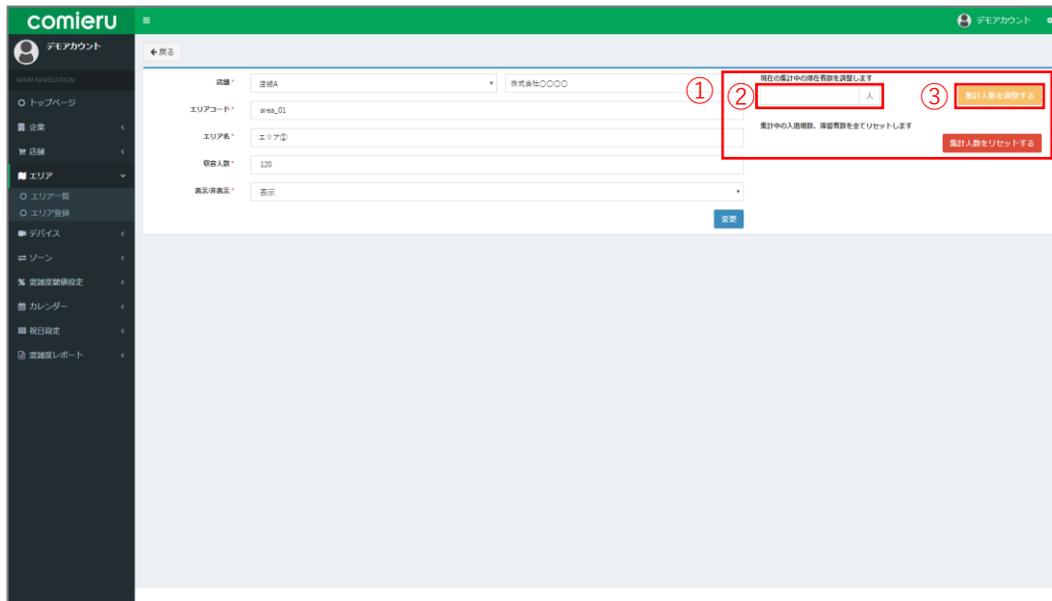
- ① 混雑度の表示をAPIのデフォルト表示で行っている場合には、「表示/非表示」の項目を「非表示」に切り替えることで、設定したエリアを混雑度の表示から除外することができます。



- ② 「表示/非表示」を変更した場合は、「変更」ボタンをクリックし変更内容を保存してください。
- ※1 「非表示」に設定した場合には、店舗詳細情報の「エリア表示順」で表示順を選択するプルダウンに「非表示」にしたエリアは表示されなくなります。
 - ※2 「店舗」、「エリアコード」の項目を変更すると、混雑度の表示に影響を与える可能性がありますので、変更を希望する場合には事前にご相談いただけますと幸いです。

混雑度表示の調整機能

- ① 「エリア一覧」の各エリアの詳細情報では、デバイスによって計測された滞在人数と実際の滞在人数に大きく差異が発生した場合に、任意の人数に合わせて集計中の滞在者数を調整することが可能です。



- ② 「現在の集計中の滞在者数を調整します」の項目に実際の滞在者数を記入します。
- ③ 記入後(例では22人)集計人数を調整するをクリックすると確認のダイアログが表示されます。



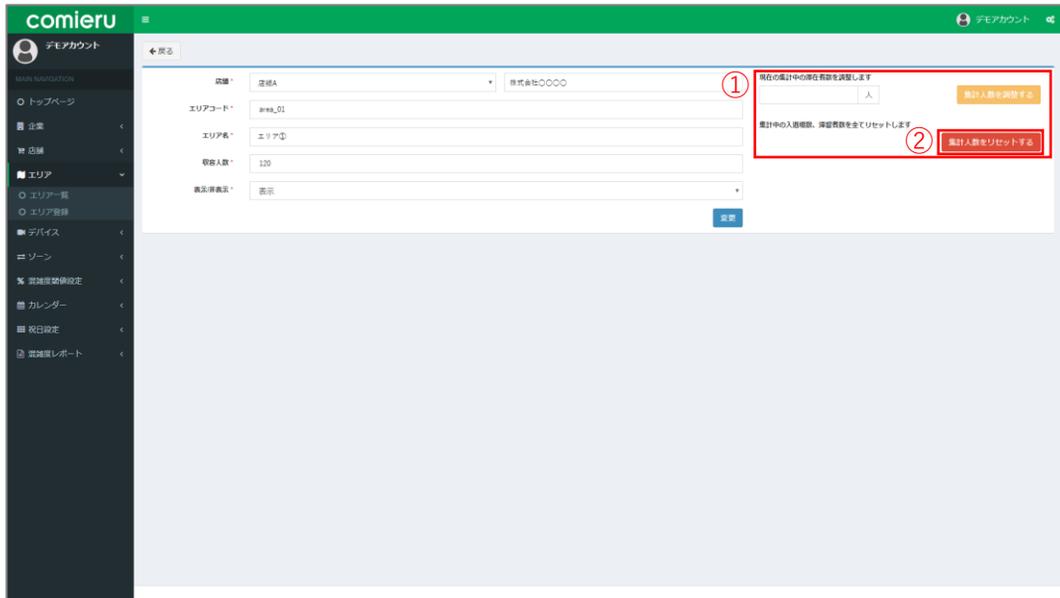
- ④ 「はい」をクリックし、調整に成功するとブラウザの画面右上に「調整に成功しました」と表示され、集計中の滞在人数が調整されます。



※データベースに保存されるデータは調整を行っても修正されません。
修正されるのは、表示用の計算テーブルの集計値になります。

混雑度表示のリセット機能

- ① 「エリア一覧」の各エリアの詳細情報では、滞在者数を0リセットすることが可能です。



- ② リセットを行うには「集計中の入退場数、滞留者数をすべてリセットします」の項目の「集計人数をリセットする」をクリックしてください。
- ③ すると確認のダイアログが表示されるので、「はい」をクリックしてください。



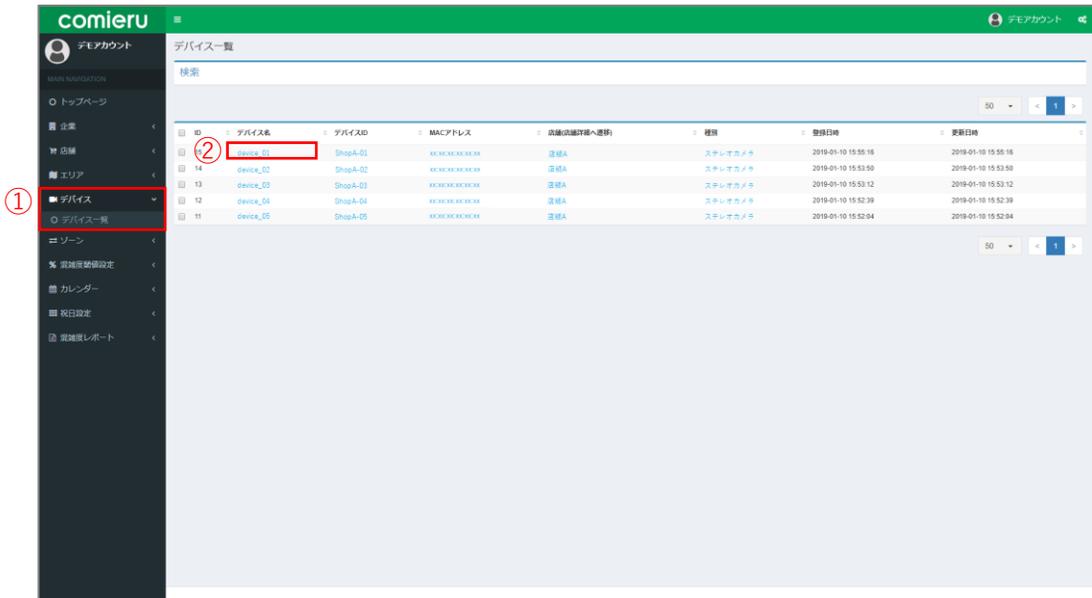
- ④ 調整に成功するとブラウザの画面右上に「調整に成功しました」と表示され、集計中の滞在人数が調整されます。



※滞在者数の調整機能とは違い、リセットを実行すると実行したタイミングで、データベース上の「入場数」、「退場数」、「滞在者数」が0にリセットされます。

デバイス一覧

- ① サイドメニューバーから[デバイス]>[デバイス一覧]をクリックすることでデバイス一覧ページが表示されます。

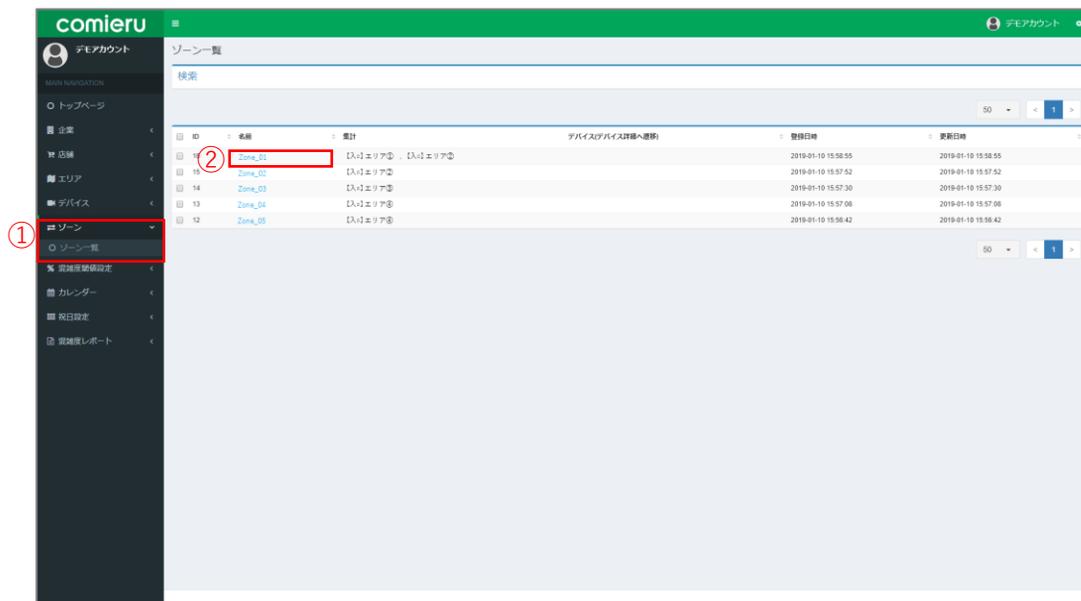


- ② [デバイス名]をクリックすることで詳細情報を閲覧することができます。

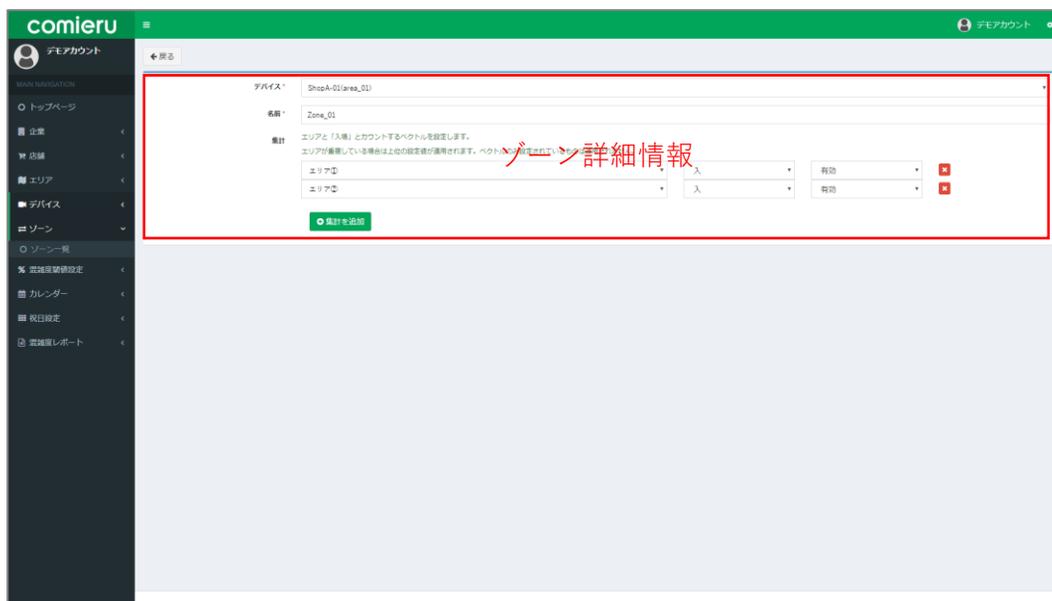


ゾーン一覧

- ① サイドメニューバーから[ゾーン]>[ゾーン一覧]をクリックすることでゾーン一覧ページが表示されます。

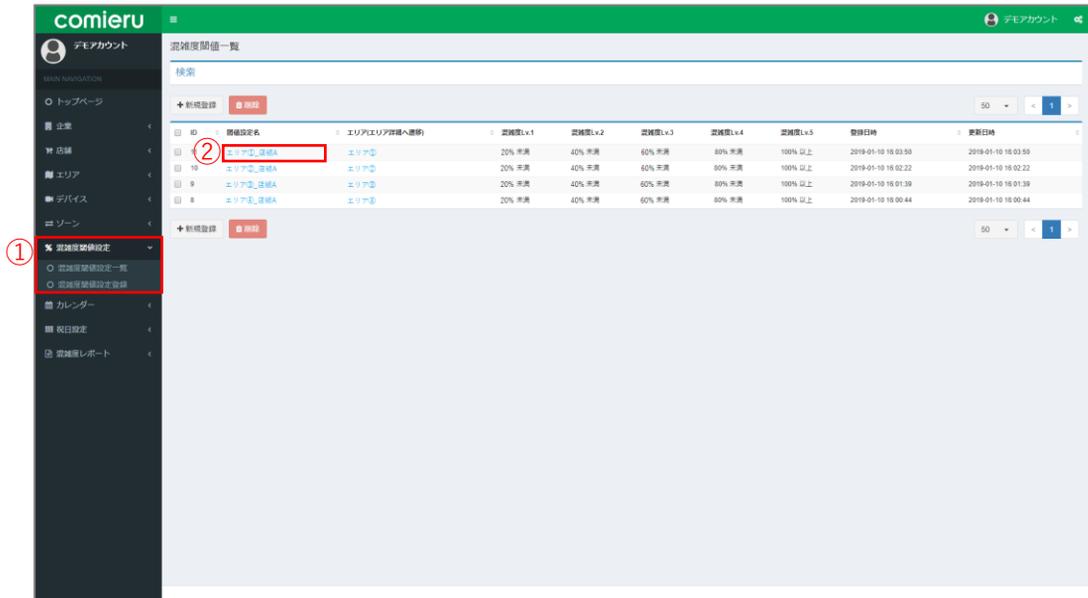


- ② [ゾーン名]をクリックすることで詳細情報を閲覧することができます。

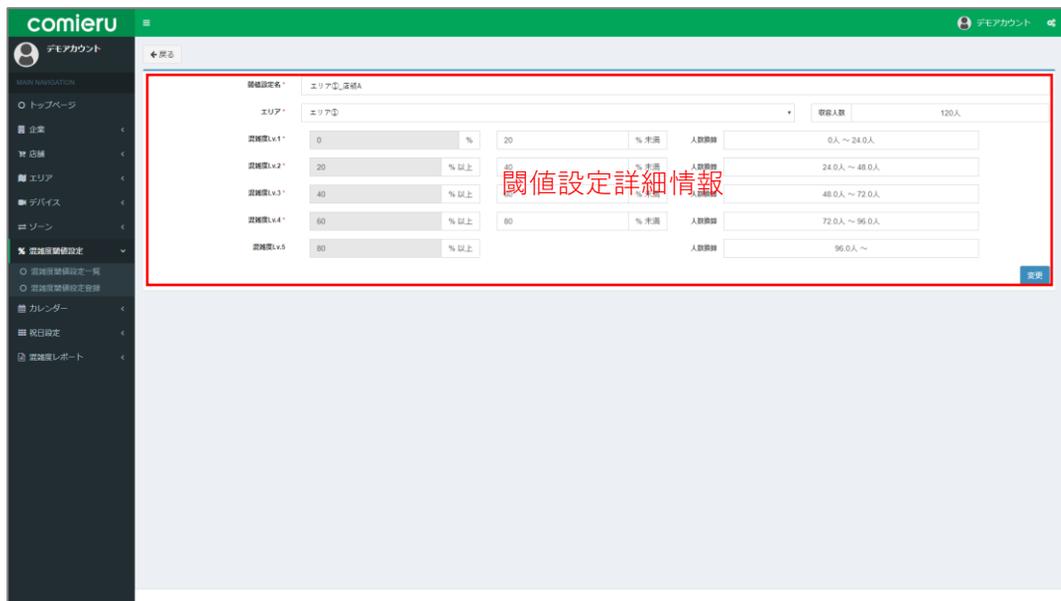


混雑度閾値設定

- ① サイドメニューバーから[混雑度閾値設定]>[混雑度閾値設定一覧]をクリックすることで混雑度閾値設定一覧ページが表示されます。

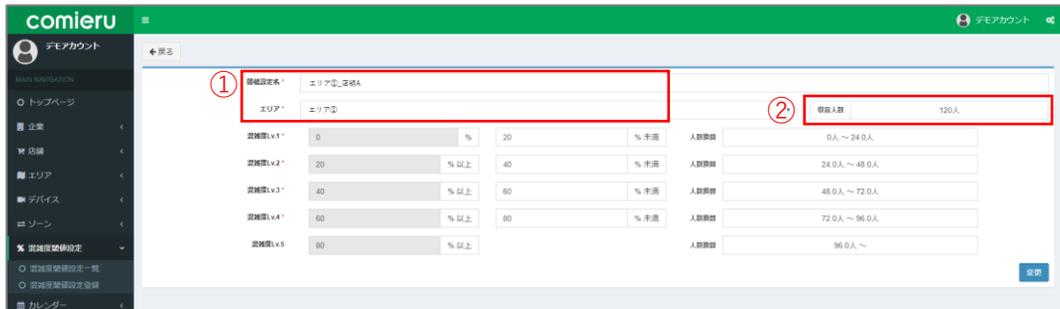


- ② [閾値設定名]をクリックすることで詳細情報を閲覧することができます。



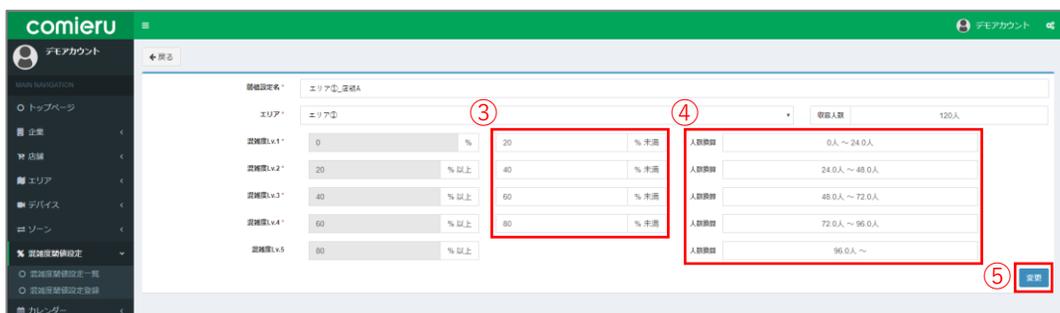
混雑度閾値設定の変更方法

- ① 閾値設定を行いたいエリアの閾値設定詳細画面を開き、「閾値設定名」「エリア名」が設定を行いたい閾値設定か確認してください。
- ② 次に、エリアに付随する情報として表示される、エリアの「収容人数」を確認してください。
※閾値設定は、この収容人数を100%とする%(パーセンテージ)形式で行います。



閾値設定名	エリア①_店舗A					
エリア	エリア①					
収容人数	120人					
混雑度Lv.1	0	%	20	%未満	人数範囲	0人～24.0人
混雑度Lv.2	20	%以上	40	%未満	人数範囲	24.0人～48.0人
混雑度Lv.3	40	%以上	60	%未満	人数範囲	48.0人～72.0人
混雑度Lv.4	60	%以上	80	%未満	人数範囲	72.0人～96.0人
混雑度Lv.5	80	%以上			人数範囲	96.0人～

- ③ 閾値設定は、各混雑Lv.(Lv.1～4)の最大値を「〇〇%未満」という形で設定します。
例)Lv.1は20%未満で、21%からLv2.であると判定され
Lv.2は40%未満で、41%からLv.3になる...といった閾値設定になっています。

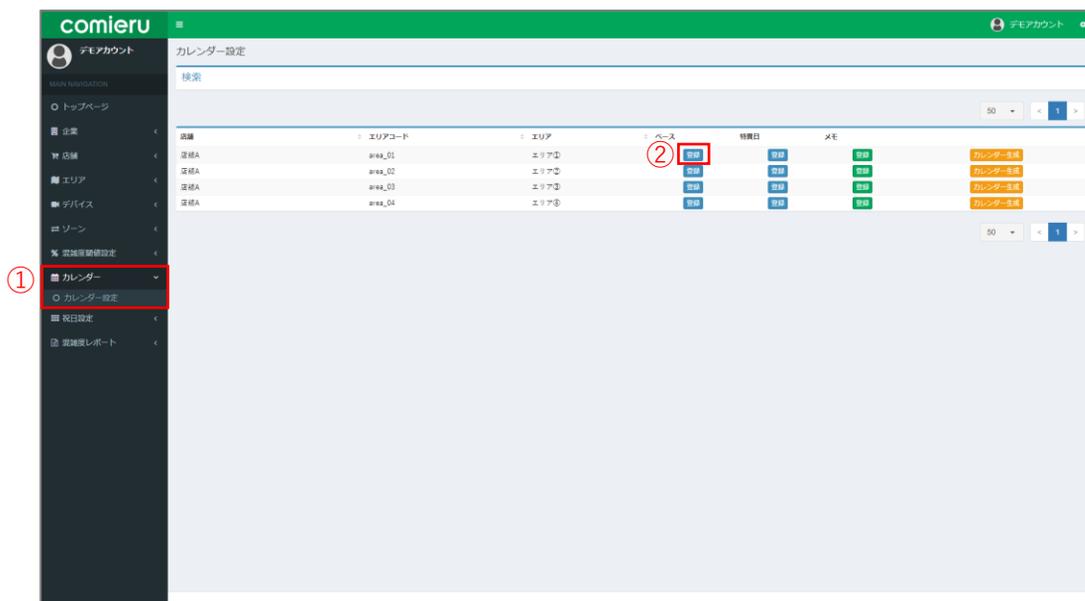


閾値設定名	エリア①_店舗A					
エリア	エリア①					
収容人数	120人					
混雑度Lv.1	0	%	20	%未満	人数範囲	0人～24.0人
混雑度Lv.2	20	%以上	40	%未満	人数範囲	24.0人～48.0人
混雑度Lv.3	40	%以上	60	%未満	人数範囲	48.0人～72.0人
混雑度Lv.4	60	%以上	80	%未満	人数範囲	72.0人～96.0人
混雑度Lv.5	80	%以上			人数範囲	96.0人～

- ④ %表記の横には%を人数換算した数値が自動的に入力されるため、閾値設定の参考にしてください。
- ⑤ 閾値設定を保存する場合は「変更」ボタンをクリックしてください。

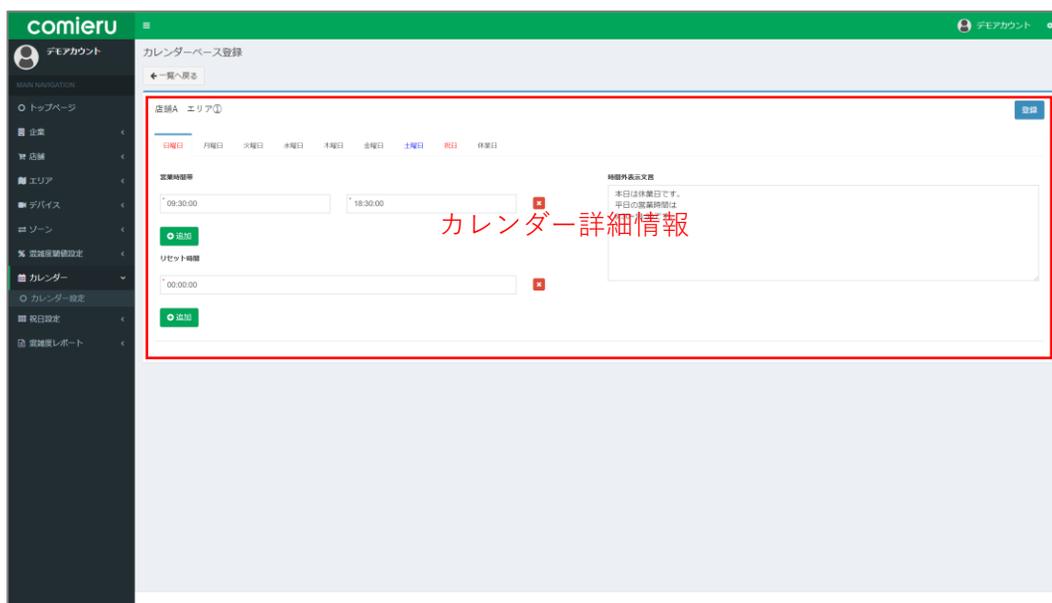
カレンダー設定(ベースカレンダー閲覧)

- ① サイドメニューバーから[カレンダー設定]>[カレンダー設定一覧]をクリックすることでカレンダー設定の一覧ページが表示されます。



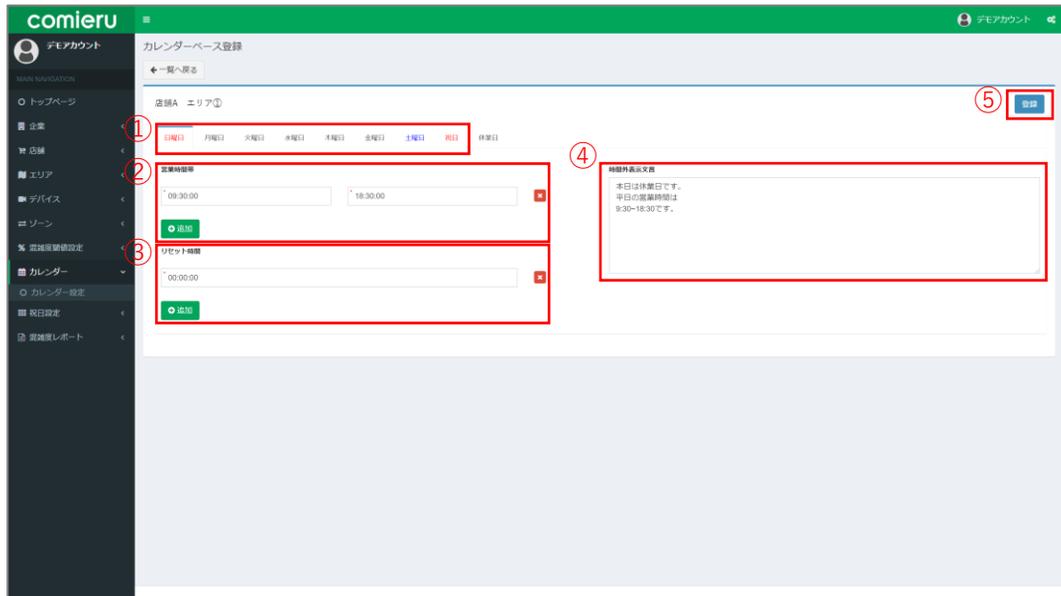
※各エリアに対して異なる営業時間を設定する設計になっておりますので、カレンダー設定は毎に設定いただけます。

- ② [ベース]をクリックすることでエリアに設定されている通常時の営業時間などの詳細情報を閲覧することができます。



カレンダー設定(ベースカレンダー変更)

- ① ベースカレンダーの詳細情報を開いた状態で、営業時間を設定したい曜日を選択してください。



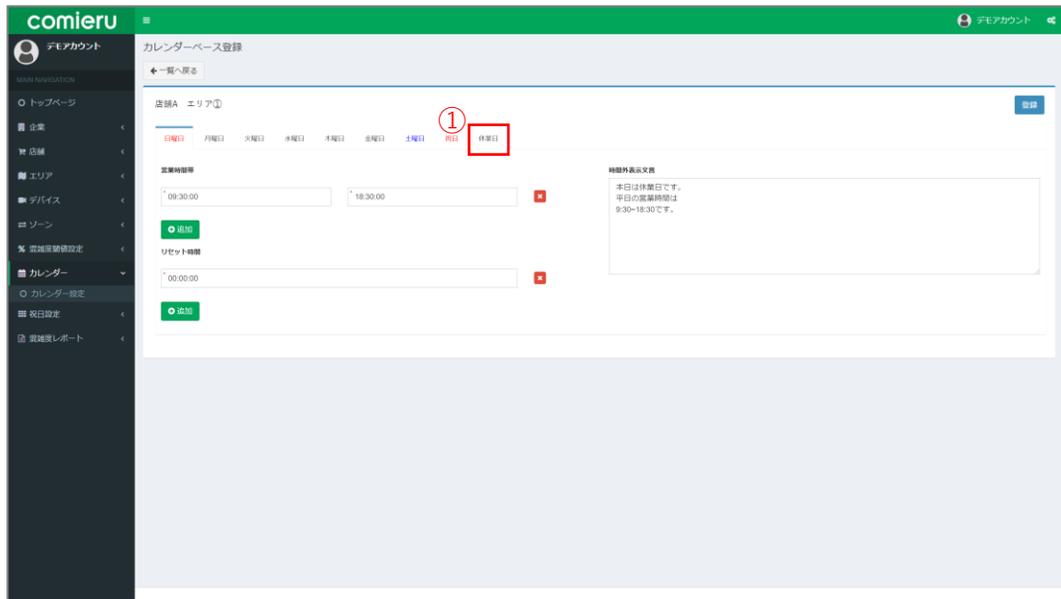
- ② 導入時にヒアリングさせていただいた営業時間があらかじめ設定されておりますので、変更が必要な場合に、「営業時間帯」の項目を編集してください。
 ※1営業時間が深夜0時を超える場合には、次の曜日の営業時間に00:00:00からの営業時間を記入ください。
 ※2記入枠の追加は、枠の下部にある「追加」ボタンをクリックしてください。
- ③ 「リセット時間」の項目には、営業時間が始まったタイミングで滞在人数を0にリセットする時間を設定できます。
 ※複数回リセットの必要がある場合には、記入枠を追加してください。
- ④ 「時間外表示文言」には設定した営業時間外に、営業混雑度を表示した場合に表示される文言を記入してください。
 例)エリアの営業時間を09:00:00~18:00:00と設定した場合18:00:01~翌08:59:59までは「時間外表示文言」に記入した文字が表示されます。
- ⑤ 設定終了には「登録」をクリックしてください。カレンダー生成画面に移行します。
- ⑥ 登録されたカレンダー設定は翌日以降分が00:00に自動的にチェックされ生成されます。当日分を反映させたい場合には、「生成」をボタンクリックしカレンダー生成を完了してください。



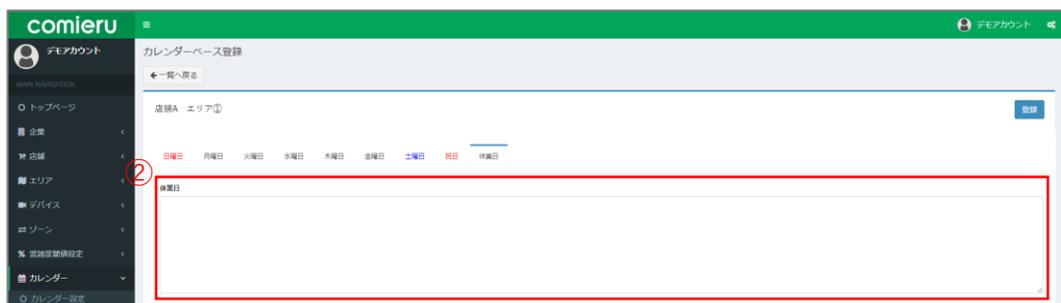
カレンダー設定(ベースカレンダー変更)

休業日文言設定

- ① ベースカレンダーの詳細情報を開いた状態で、「休業日」を設定すると特異日カレンダーで休業日として設定した場合に表示されるデフォルト文言を設定することができます。



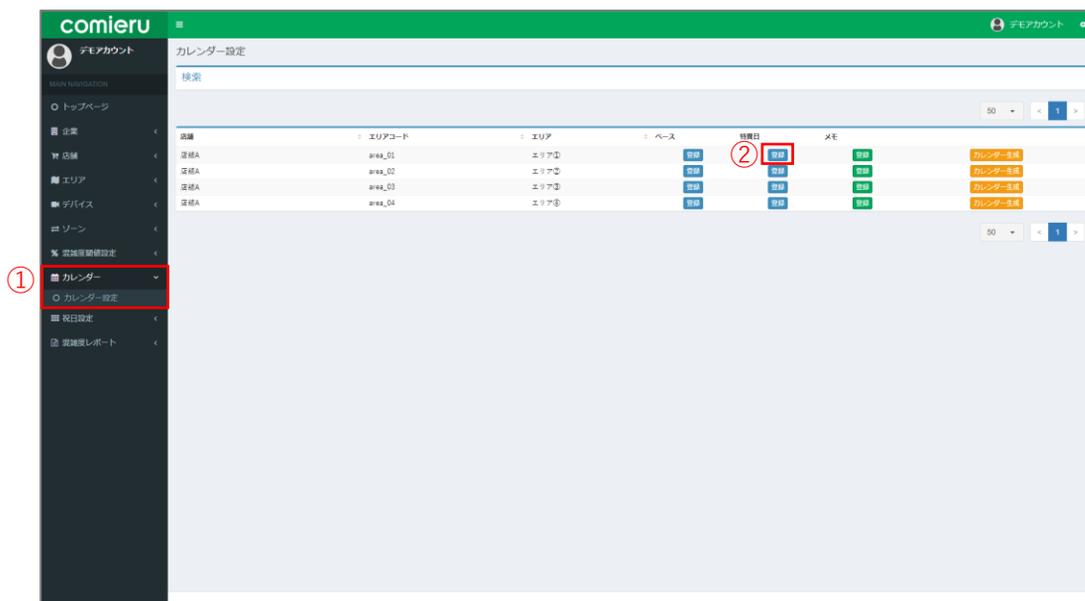
- ② 「休業日」の枠内に休業日中に表示する文言を入力してください。



※ここで設定した文言は特異日設定にて休業日を選択した場合に自動的に入力されます。
 ※設定を保存するには「登録」と「生成」を完了させてください。

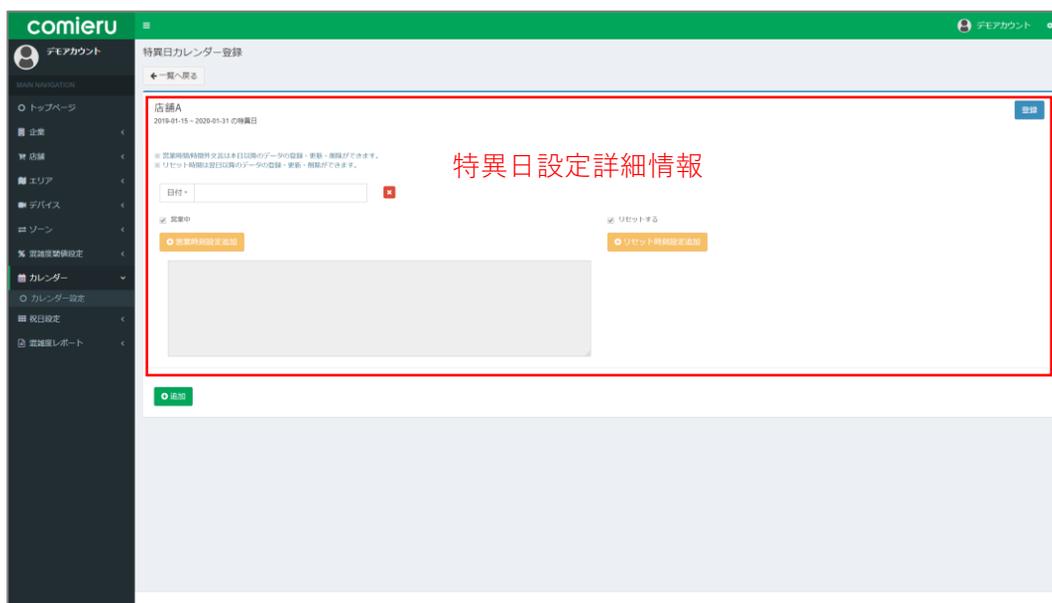
カレンダー設定(特異日カレンダー閲覧)

- ① サイドメニューバーから[カレンダー設定]>[カレンダー設定一覧]をクリックすることでカレンダー設定の一覧ページが表示されます。



※各エリアに対して異なる営業時間を設定する設計になっておりますので、カレンダー設定は毎日に設定いただけます。

- ② [特異日]をクリックすることでエリアに設定されている通常時とは異なる場合の営業時間などの詳細情報を閲覧することができます。

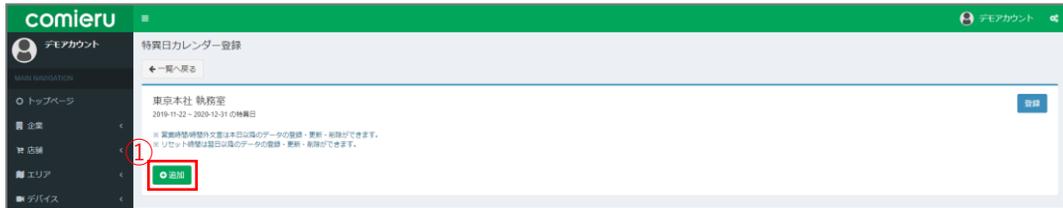


※記入枠の追加は、枠の下部にある「追加」ボタンをクリックしてください。

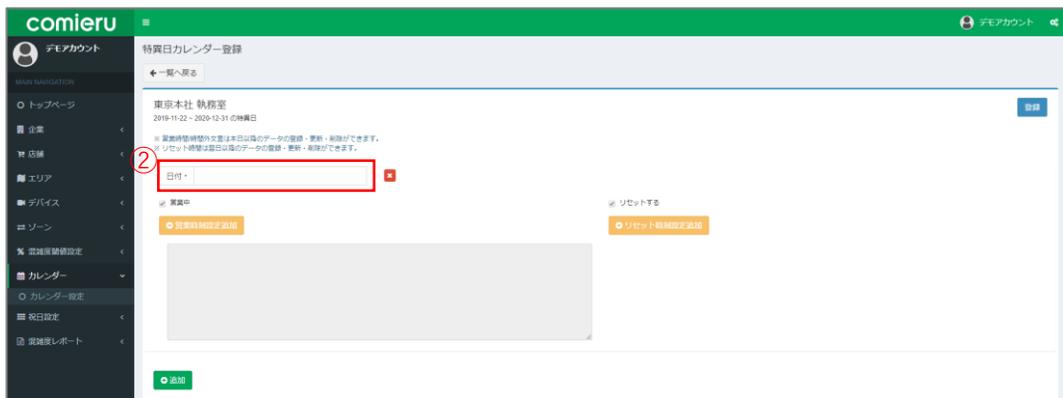
カレンダー設定(特異日カレンダー登録)

特異日登録：共通

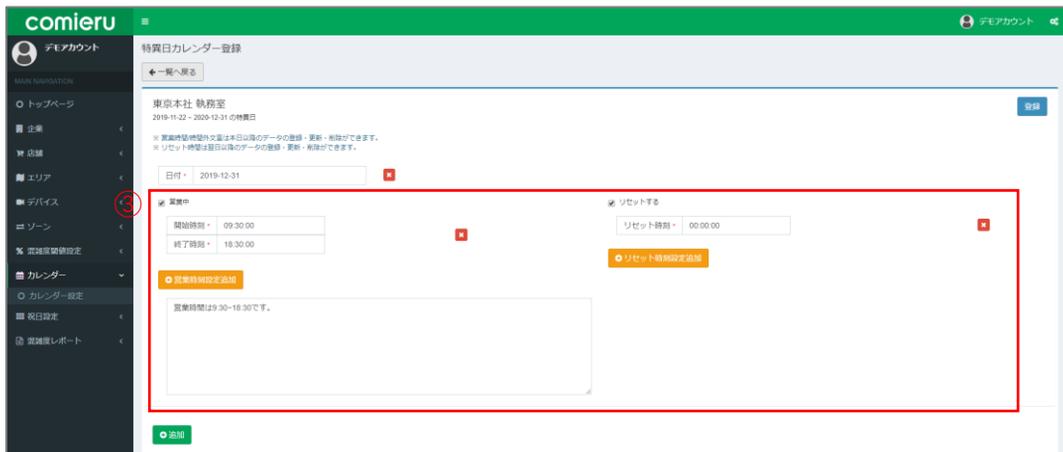
- ① 任意のエリアを特定日設定するためには特異日カレンダーの「追加」ボタンをクリックしてください。



- ② 追加された記入枠の「日付」にて、特異日として登録したい日付を選択してください。



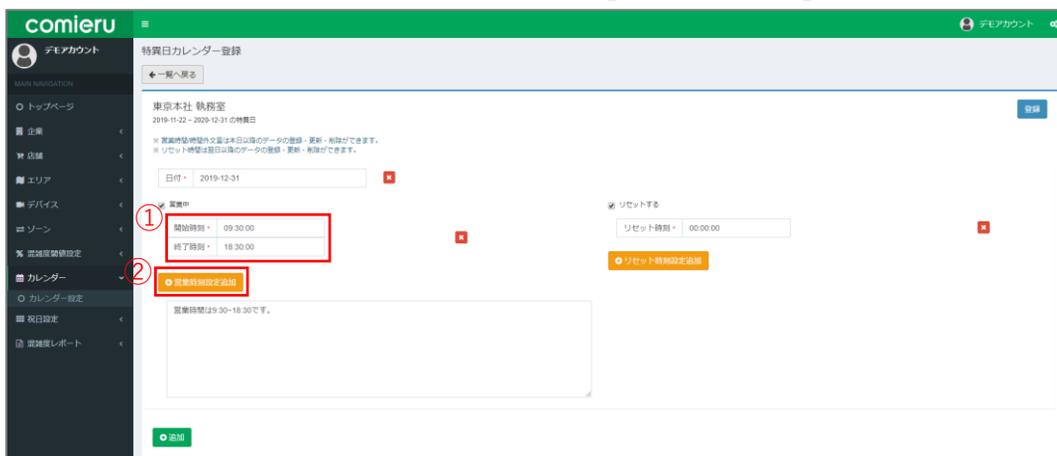
- ③ 日付を選択すると、ベースカレンダーで設定されている「営業時間」、「リセット時間」、「営業時間外文言」が自動的に入力されます。



カレンダー設定(特異日カレンダー登録)

特異日登録：営業時間の変更

- ① 任意のエリアの「営業時間」を特異日設定するためには日付を選択し自動的に入力表示された営業時間の「開始時刻」、「終了時刻」を変更してください。
- ② 営業時間が複数存在する場合(昼に一度休業時間を挟む場合)には、「営業時刻設定追加」ボタンをクリックし、追加された記入枠に新たに「開始時刻」、「終了時刻」を入力してください。

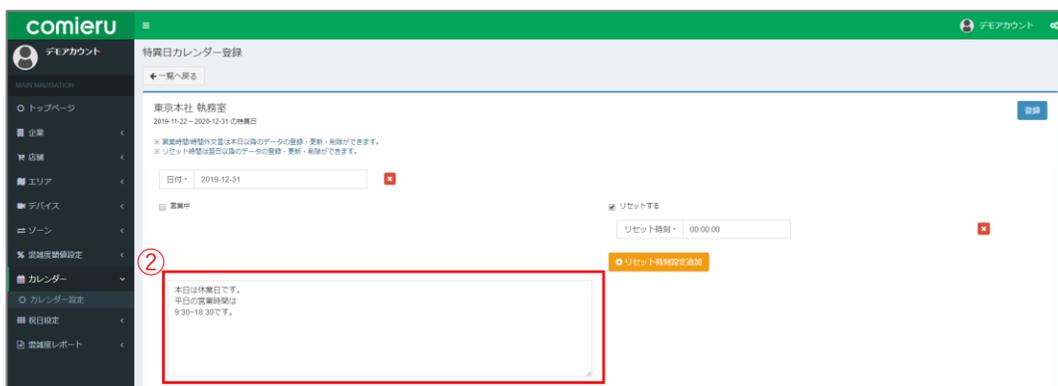


特異日登録：休業日の設定(定休日以外等)

- ① 定休日以外の休業日を設定する場合には、「営業中」のチェックを外してください。



- ② 休業中の表示文言はベースカレンダー設定にて設定した文言が自動入力されます。
※自動入力された文言は任意に変更することが可能です。

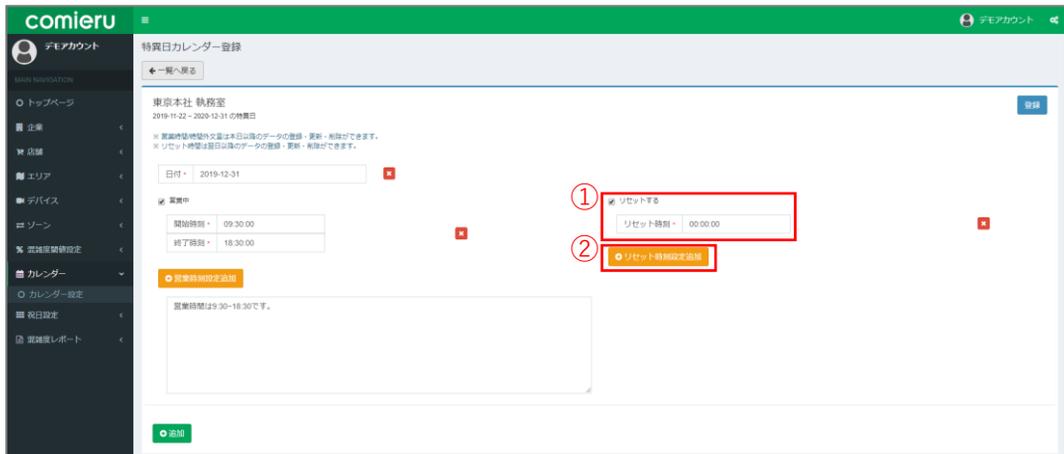


※設定変更後はカレンダーの「登録」と「生成」を完了させてください。

カレンダー設定(特異日カレンダー登録)

特異日登録：リセット時刻の変更

- ① 任意のエリアの「リセット時刻」を特異日設定するためには日付を選択し自動的に入力表示された「リセット時刻」を変更してください。
- ② 営業時間が複数存在する場合(昼に一度休業時間を挟む場合)には、「リセット時刻設定追加」ボタンをクリックし、追加された記入枠に新たに「リセット時刻」を入力してください。

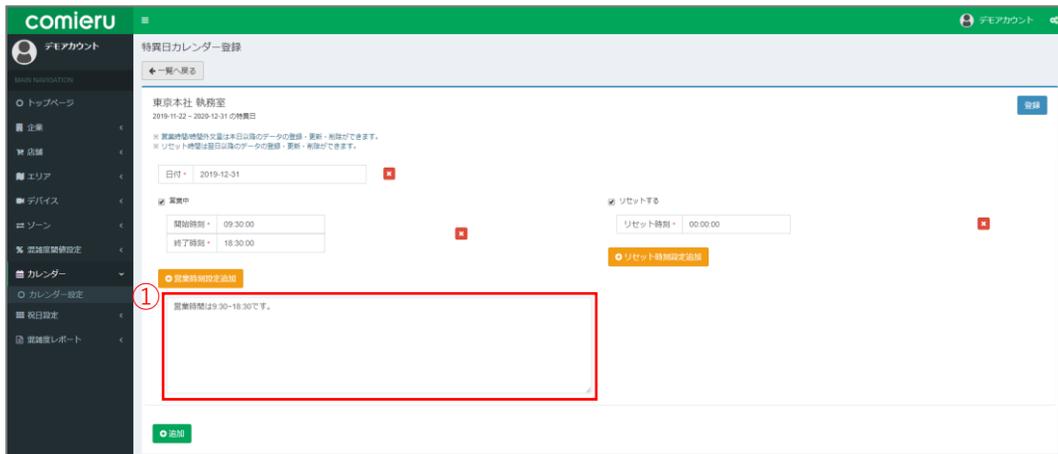


※設定変更後はカレンダーの「登録」と「生成」を完了させてください。

カレンダー設定(特異日カレンダー登録)

特異日登録：時間外文言の変更

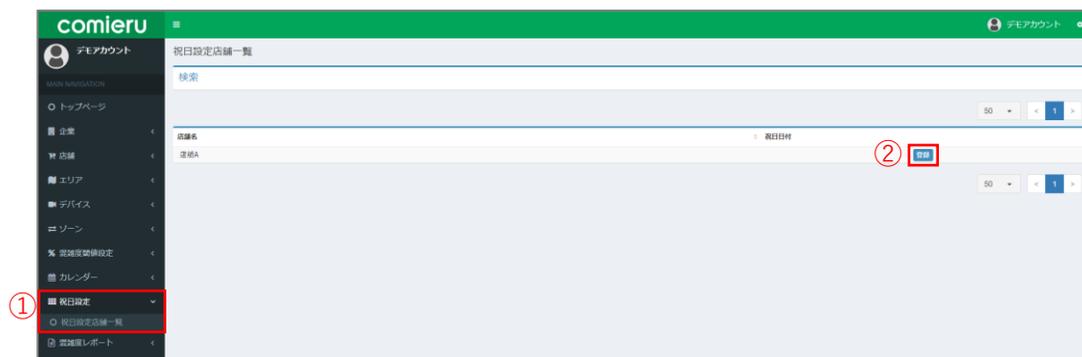
- ① 任意のエリアの「時間外文言」を特異日設定するためには日付を選択し自動的に入力表示された「休業中の表示文言」をベースカレンダー設定にて設定した文言が自動入力されます。
※自動入力された文言は任意に変更することが可能です。



※設定変更後はカレンダーの「登録」と「生成」を完了させてください。

祝日設定

- ① サイドメニューバーから[祝日設定]>[祝日設定店舗一覧]をクリックすることでログインしているアカウントで祝日設定を行うことのできる店舗の一覧ページが表示されます。



- ② 一覧の店舗名から祝日設定を行いたい店舗の項目「祝日日付」の「登録」をクリックしてください。
- ③ 店舗に設定されている祝日の一覧が表示されます。
 ※標準的な日本の祝日は、デフォルトで設定されておりますが、3が日である1月2,3日などは祝日となっておりませんので、業種や店舗の営業に合わせて設定を行ってください。



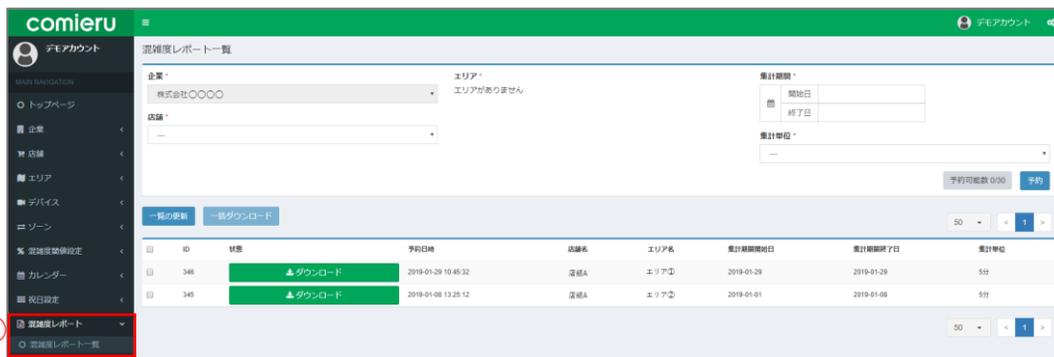
- ④ 新たに祝日を設定する場合には、画面下部(祝日の一覧を最下部までスクロールしてください。)にある「追加」ボタンをクリックしてください。



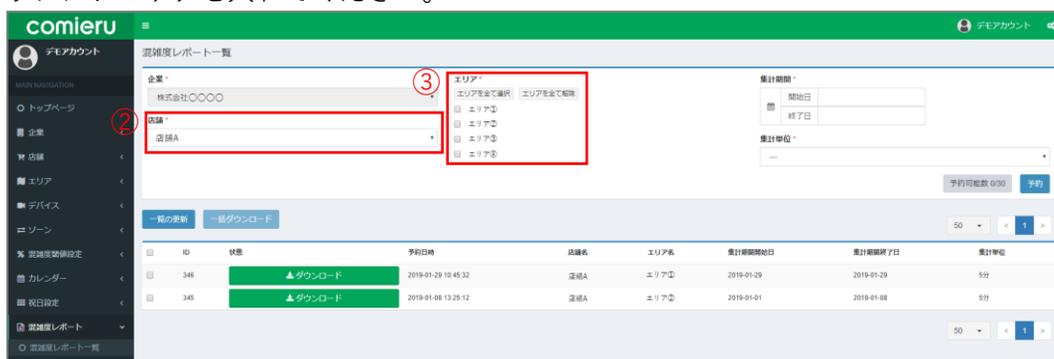
- ⑤ 記入枠が追加されますので、祝日として設定する日付を入力してください。
 ※初期値として「追加」を押した当日の日付が入ります。
- ⑥ 「メモ」の項目には、祝日名(イベント名)を記入してください。
- ⑦ 設定を登録するためには、「登録」ボタンをクリックしてください。
 ※祝日設定は、通常の平日よりも混雑が予測される場合“イベント時”等の混雑予測を休日と同じように行うために存在します。

混雑度レポートのダウンロード

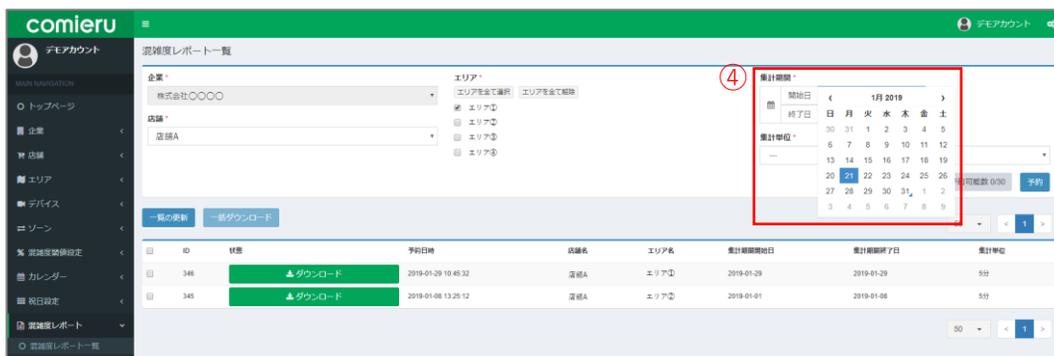
- ① サイドメニューバーから[混雑度レポート]>[混雑度レポート一覧]をクリックすることで混雑度レポートの一覧ページが表示されます。



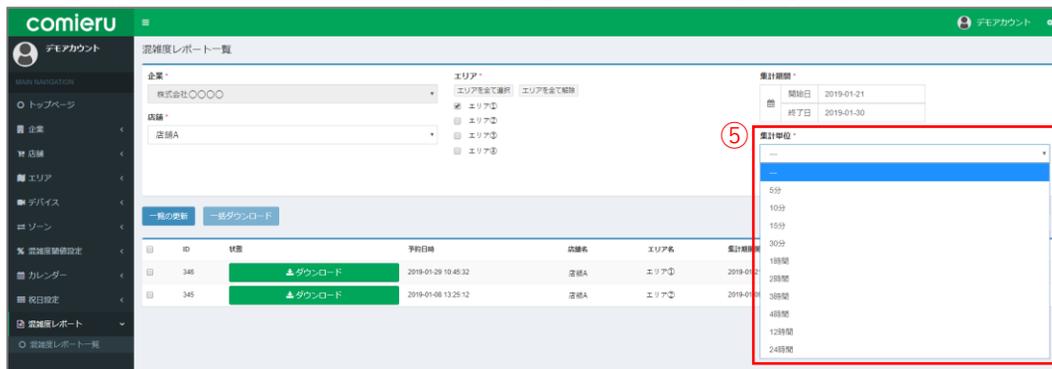
- ② 混雑度レポート(csv形式)をダウンロードしたい[店舗]を選択してください。
- ③ 店舗を選択すると、店舗に紐づく「エリア」が表示されるので、csvをダウンロードしたいエリアにチェックを入れてください。



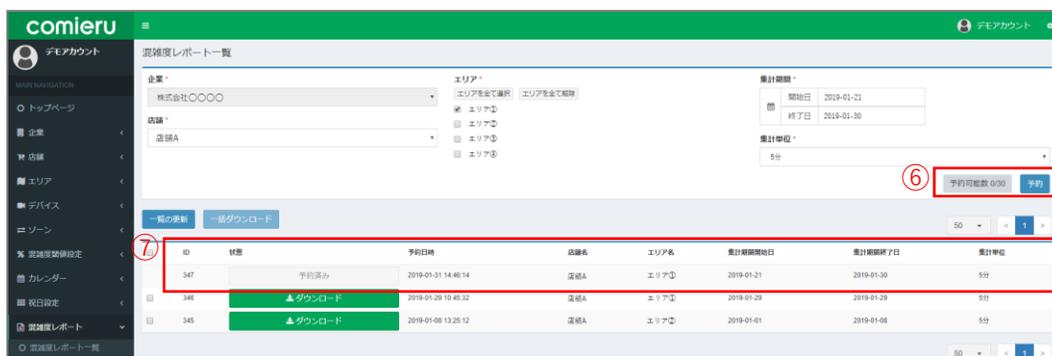
- ④ csvをダウンロードしたい集計期間の「開始日」と「終了日」を選択してください。



- ⑤ ダウンロードする際のデータの集計単位を「5分～24時間」から選択してください。
 ※10分を選択するとデータは10分おきに集計されたデータになります。



- ⑥ 「エリア」、「集計期間」、「集計単位」を「予約」ボタンをクリックしてください。
 ⑦ ダウンロードリストに予約した設定のレポートが「予約済み」の状態を追加されます。



- ⑧ 予約後ある程度時間をおいて「一覧の更新」をクリックし、一覧の更新を行うと、ダウンロードリストの「状態」が「予約済み」から「ダウンロード」に更新されますので、CSVファイルのダウンロードを行ってください。
 ⑨ ダウンロードリストの「チェックボックス」に複数チェックを入れると、「一括ダウンロード」が有効になり、選択したCSVファイルをまとめてダウンロードできます。

